

# Q-days

数字の球を組み換えて使う万年カレンダー



■背景

立体的な万年カレンダーには、大きく分けて2パターンの問題があり、ひとつはカレンダーを構成する数字が単体であるため、バラバラにして組み立てる手間とコマの紛失リスクが高いもの。ふたつ目は、横スクロール式でシンプルであるがその分デットスペースが生まれるもの。それらの現状から、何か良い表現方法はないかとアイデア展開していった。

■システムデザイン

普通のカレンダーならばデザイン重視の表現から考えても良いのだが、まずは万年カレンダーのシステムを見直すことから始めた。そして、縦4コマを1列のブロックにすることで、組み替えの手間が省くことができると同時に、コマ数は変わらない周期システムを発見し、結果、万年カレンダーとしてのコンパクト性とシンプルさを強調する事が出来た。

■プロダクト・ポイント

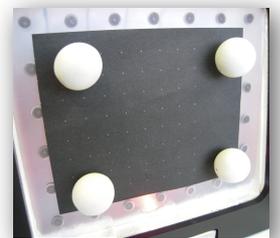
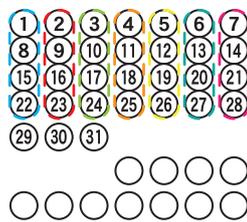
- ①直線形体の組み替え方式では、ズレが生じた時の接続“面”が目立つ  
→球体にすれば“設置面”ではなく“接点”となり接続点(面)がきれいに見える。
- ②球体に溝を彫り、その溝にカットした数字をはめ込む。  
→3次曲面に平面が存在する違和感。

■活用法

- ①数字のコマの背面にマグネットを内蔵して、コマを本体から外して冷蔵庫などの金属面に設置することができる。そして残ったスタンドはフォトフレームとして使用できる。
- ②カレンダー本体にはLEDライトが搭載されているので、お部屋のちょっとしたインテリアとして飾ることができる。



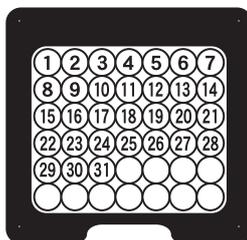
・単体ブロック組み替え式



・2 way使用例



・横スクロール式



+ Light